



謹教小だより

第 2 号

平成 29 年 4 月 21 日



授業参観、PTA総会終了

15日(土)は、授業参観、学年懇談会(右写真は1学年の懇談会)に出席いただきましてありがとうございました。

新しい友だち、新しい担任の先生と一緒に、どの学級も一生懸命授業に取り組んでいました。その後の懇談会では、「こんな学年にしていきたい」という話がありました。学年・学級の目標に向かって、子どもたちを導いてまいりますので、今年度も変わらぬご支援をお願い致します。

11時からのPTA総会にも、多くの皆様に参加をしていただきました。滞りなく議事が進行され、関尚樹会長さんをはじめとして、新しい役員が選出されました。PTA事務局、各学年委員、専門部会委員の方々には、お忙しところ何かとお世話になりますが、よろしくお願い致します。



謹教の教育を語る会

謹教の教育を語る会では、今年度の学校経営ビジョンについて説明をさせていただきました。

子どもたちに、「自分はみんなから認められている。」(これを“自己有用感”と言います)という気持ちを持たせるために、「鍛える」「ほめる」「伸ばす」サイクルを、授業を中心に様々な学校生活の中で機能させていきます。自己有用感を持つことは、自分らしさを発揮して積極的に学習に取り組んだり、他との関わりを考えながらよりよい集団生活をしようとする意識・態度を生み出します。頑張りが認められ、ほめられることで更に意欲を持って物事に取り組む、そんな日常を積み重ねていきたいと考えています

- 1 確かな学力の定着
- 2 体力向上と健康で安全な生活の実践
- 3 豊かな心と道徳的実践力の育成

この3つは、学校が実践する今年度の重点目標です。具体的には、先日お渡しした「しらはぎ手帳」のP27に掲載しておりますのでご覧ください。

自己有用感=認められる



学校ニュース

緑の少年団、募金活動を頑張る!

緑の少年団の結団式が昨日行われました。今年も多くの子どもたちが緑の少年団に入り、早速募金活動に取り組みました。足を止めて募金箱にお金を入れてもらう瞬間、子どもたちの心は、嬉しさでいっぱいになります。地域の人の温かさに触れる募金活動でした。



1年生を案内したよ!

1年生が、生活科の時間に学校内の探検をしました。案内してくれたのは、先輩の2年生です。1年生の手を引いて、「失礼します」と挨拶をして入ってくる2年生は、とても頼もしいお兄さん、お姉さんです。何の部屋なのか、そこにある物は何なのか、質問をしたり教えてあげたり、立派な先輩ぶりを発揮してくれていました。

さすが6年生!

前期の児童会総会が18日(火)にありました。代表委員長の挨拶、各委員会の委員長さんの説明や質問への受け答え、議事を進行する議長の話し方等々、「さすが、6年生!」と感心する総会でした。自分たちが責任を持ってやる、という自覚が伝わってきました。きっとこれからの活動も、4, 5年生を引っ張ってくれると思います。



音楽集会も始まりました

初めての音楽集会が昨日ありました。今月の歌は「はじめのいっぽ」。4月のスタートにはぴったりの歌です。合唱部のきれいな歌声を聴いた後、全校生で声を合わせ、謹教堂に元気な歌声を響かせました。

大きな歌声は、全体を明るくし、たくさんの元気や勇気が湧いてくるような気になります。これからも大事にしたい音楽集会です。



【ちょっといい話 66】 朝早くから花壇の手入れをしている緑少の子どもたち。その隣では生活委員会が「おはようございます」と朝の挨拶運動を頑張っている。そして玄関を入ると6年生が清掃奉仕活動をしている。一人一人が自分の持ち場で活躍している。奉仕活動をしていた6年生のR君。職員玄関の椅子を片付けながら、隅々の砂を掃いて、憩いの森まで捨てに行った。その丁寧な仕事ぶりを褒めると、「先生から指導されました」と話してくれた。言われたことをきちんとやろうとする心が素晴らしい。「素直さ」はさらなる成長を支えていく。